

○ウォークラリー

1 活動内容とねらい

グループで指令書のコマ図に示された順路に従い、未知の場所に向かって歩きます。チェックポイントでの課題を解決しながらゴールを目指します。時間や課題を解決した得点で競います。指令書を手がかりにしながら未知のコースを踏破する過程で、協調性、忍耐力、判断力を身に付けることができます。

2 実施上の基本事項

(1) 期 間： 年間通して実施できます。

(2) 所要時間とコース： 1時間30分～2時間

① 藪塚駅から当所までのウォークラリーコース（3コース）

・古墳コース ・温泉街コース ・田んぼコース

② 当所から平地方面のウォークラリーコース（Aコース・Bコース）

(3) 人数・グループ編成

6、7人で、男女混合のグループ編成が望ましいです。

(4) 事前打ち合わせ

ア 引率者は、コース、人数、実施方法等について所員と事前に打ち合わせを行ってください。

イ コースの危険箇所や分岐点等に指導者を配置してください。

(5) コースの選定と実地踏査

引率者は安全確保の面から事前に実地踏査を行い、コースの状況等を把握したうえで、実施に万全を期してください。

※各コースの指令書と解答は、データで送付できます。

3 実施の概要

(1) 役割と活動内容

ア 担当者 1 名（全体総括、当所との連絡調整、指導）

イ 補助者 若干名（必要物品の借用・返却、要所での監督等）

(2) 使用する用具等

ア 個人装備（指令書、筆記用具、ナップザック類、雨具、帽子、水筒、タオル、ティッシュ等）

イ 団体装備（クリップボード（班数分）、ビブス（班長着用）、救急薬品等）

※ 無線機（長距離用）、クリップボード30枚、ビブス40枚は貸し出しできます。

(3) 実施プログラム例

時間	内 容	指 導 上 の 留 意 点
15分	○集合 ○ウォークラリーの説明と諸注意	・人数確認、健康観察、携行品の確認をします。 ・指令書をグループに1枚ずつ配布します。 ・交通ルールを守るよう指示します。 ・指令書の見方について説明します。 ・植物や昆虫等を採取しないことや、蜂や毒蛇、イノシシの被害にあわぬよう藪に入ったり、立木をたたいたりしないよう指示します。 ・人家や田畑等に入らないよう指示します。
90分	○グループごとに3～5分間隔でスタート ○ゴール	・グループ単位で協力しながら行動するよう指示します。 ・ゴールしたグループは静かに待機させます。
15分	○表彰・まとめ・ふりかえり ○事務室への報告と借用物品の返却	・人数確認、健康観察をします。 ・ウォークラリーの感想を発表させます。 ・次の活動について指示します。